



平成 25 年 11 月 28 日

各 位

会 社 名	日清紡ホールディングス株式会社
コード番号	3105
代表者名	取 締 役 社 長 河 田 正 也
情報取扱責任者	取締役常務執行役員 村上 雅洋 事業支援センター長

### 日清紡テキスタイル株式会社による日清デニム株式会社の吸収合併に関するお知らせ

当社は、平成 25 年 11 月 28 日開催の取締役会において、下記のとおり当社の完全子会社である日清紡テキスタイル株式会社(以下、「日清紡テキスタイル」という。))と同社の完全子会社である日清デニム株式会社(以下、「日清デニム」という。))を合併することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 合併の目的

平成 27 年度を最終年度とする当社グループの中期経営計画「NEXT2015」で、繊維事業は売上高 600 億円、営業利益 30 億円を目標に掲げ、「グローバル事業体制の強化」と「“アポロコット”ブランドの拡販」に注力しています。

繊維事業では、これまでに生産拠点を国内から海外にシフトしてきた結果、インドネシアに紡績・織布・加工・縫製の一貫した生産体制を整え、現在では一大拠点としてフル生産の状態が続いています。さらに、紡績設備の省力化・増強投資を実施し、一層の競争力強化に取り組んでいます。また、“アポロコット”ブランドに代表される樹脂加工技術でも欧米の販路拡大を狙うなど、積極的なグローバル展開を進めています。

一方、国内においては、すでに公表のとおり日清デニム(徳島県吉野川市)の敷地内に日清紡テキスタイル美合事業所(愛知県岡崎市)を移転(平成 27 年 1 月稼働予定)します。この移転は繊維事業のコア技術である樹脂加工技術の研究開発拠点を集約し、新商品開発力の強化を図るためのものです。そして今回の日清紡テキスタイルによる日清デニムの吸収合併により、人材の組織横断的活用や購買・ユーティリティ使用の効率化を進め、企業としての競争力を強化します。この合併により、現在の日清デニムは日清紡テキスタイル吉野川事業所(仮称)として、名実ともに繊維事業の中核を担う事業所に変貌します。繊維事業全体の経営効率を高め、NEXT2015 の達成に向け、さらにはグローバルで存在感のあるテキスタイル・メーカーを目指して邁進していきます。

#### 2. 合併の要旨

##### (1) 合併の日程

合併契約締結	平成 26 年 7 月 予定
合併期日(効力発生日)	平成 26 年 10 月 1 日 予定

(2) 合併方式

日清紡テキスタイルを吸収合併存続会社、日清デニムを吸収合併消滅会社とする吸収合併方式とし、合併後、日清デニムは解散します。なお、本合併に際し、日清紡テキスタイルから日清デニムの株主に対して、株式その他の金銭等の割当は行いません。

3. 当事会社の概要(平成 25 年 9 月 30 日現在)

(1) 商号	日清紡テキスタイル株式会社 (存続会社)	日清デニム株式会社 (消滅会社)
(2) 事業内容	糸、織編物、不織布、衣服、産業用繊維資材その他の繊維製品の開発、製造、加工、売買及び輸出入	各種繊維製品並びにその原料の、紡績、織布、染色その他の加工及び縫製並びに販売
(3) 設立年月日	平成 21 年 4 月 1 日	昭和 60 年 5 月 14 日[日新デニム(株)設立]
(4) 本店所在地	東京都中央区日本橋人形町二丁目 31 番 11 号	徳島県吉野川市鴨島町牛島字明治開 2429-1
(5) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 五十部 雅昭	代表取締役社長 片山 善之
(6) 従業員数	339 名	82 名
(7) 資本金	10,000 百万円	200 百万円
(8) 発行済株式数	(普通株式)10,000 株	(普通株式)4,000 株
(9) 決算期	3 月 31 日	3 月 31 日
(10) 大株主および持株比率	日清紡ホールディングス株式会社 100%	日清紡テキスタイル株式会社 100%

4. 合併後の存続会社の状況

日清紡テキスタイルの商号、事業内容、本店所在地、代表者、資本金および決算期に変更はありません。

5. 今後の見通し

本合併は、当社の完全子会社間の合併であるため、当社連結業績に与える影響はありません。

以上

[本件に関するお問い合わせ先]

日清紡ホールディングス株式会社 IR 広報グループ TEL 03-5695-8854